



競輪補助事業完了のお知らせ

## 学習相談事業のご報告

2月18日(日)ドーンセンター5階大会議室2において学習相談事業をおこないました。

この事業は公益財団法人JKAより助成金を受けて、一般社団法人日本自閉症協会主催・一般社団法人大阪自閉スペクトラム症協会共催で実施いたしました。参加者は17名でした。

支援学校教諭の米田遊氏、特定非営利活動法人発達障害サポートセンターピュア・生活介護ピュアファクトリー管理者の栗田英治氏、社会福祉法人北摂杉の子会・豊中市立児童発達支援センター通所部門管理者の岩城望氏それぞれのお立場で教育現場・放課後等デイサービス・(幼児対象の)発達支援センターにおけるPECS®の実践を紹介していただきました。座談会では、事前にいただいた質問や参加者からいただいた質問について、先生方からお答えしていただきました。



(写真は左から岩城氏、栗田氏、米田氏。)

当初会場を4階とご案内いたしましたが、5階の誤りでした。来ていただいた方には大変ご迷惑をおかけいたしました。この場を借りてお詫びいたします。

当日のアンケート結果を公表いたします。記述部分はできるだけ原文どおりとしました。

**1. 今回の学習相談会の実施団体名を記入ください。** 大阪自閉スペクトラム症協会

**2. 自閉症協会に入会していますか？**

① 会員（正会員）43% ② 会員（賛助会員）7% ③ 非会員 50%

**3. あなたの立場を教えてください。** 複数回答あり

① 当事者 0% ② 保護者 57% ③ 医療従事者 0% ④ 教育 14% ⑤ 心理 0%  
⑥ 保育士 0% ⑦ 施設職員 21% ⑧ その他 14% (家族など)

**4. あなたが主に関わっている自閉症の方について教えてください。(多数回答有)**

① 未就学児 14% ② 小学生 36% ③ 中学生 21% ④ 高校生 21%  
⑤ 18～39歳 50% ⑥ 40歳以上 14%

**5. 今回の学習会に参加されての感想を教えてください。**

① 満足 71% ② やや満足 29% ③ やや不満足 0% ④ 不満 0%

**6、また参加したいですか？**

- ① 参加したい **43%** ② 時間があれば参加したい **50%** ③ どちらともいえない **0%**  
④ あまり参加したくない **7%** ⑤ 参加したくない **0%**

**7、今回得た情報を日常生活に活かしていくことができそうですか？**

- ① 活かしていける **21%** ② 活かしていけそう **50%**  
③ 活かしていけなさそう **21%** ④ 活かさない **0%**

**8、参加してよかったことは何ですか？** (一部抜粋)

- ・支援する方法がわかり、実践している人が多くいることを知ることができてよかったです。
- ・自発、やる気をいただきました。その人が今何をしたいのか推そくではなく本人に求めていきます。
- ・自分は就労の場で支援をしているのですが、ご家族や福祉事業所との目線合わせの機会が少なく、サポートにつまづく場面が多くあります。本日のお話を聞いて、職場でも各所との連携を取る仕組み作りが大切だなと改めて考えさせられました。(一般就労だと、どこまでできるのか、悩みどころです)
- ・当事者の方が困る、混乱するポイントが大まかに分かりました。
- ・教育と福祉それぞれの立場からコミュニケーション支援の重要性を聞くことができて良かったです。事例も紹介していただいたので、本校で今できる方法から見つけていきたいと思いました。
- ・娘は知的障がいがなかったから、普通学校に行き、ASDの2次障害で不登校になりました。知的があり、特別支援学校に行けていたら、もっと療育を受けれていたんじゃないかと、ずっと思っていました。こちらはこちらで本人も大変な思いをしていることが分かりました。

**9、今後取り上げて欲しいテーマやご希望があればご記入下さい。** (一部抜粋)

- ・要求(コミュニケーションの表出)を般化させていく過程や、支援者にその重要性を理解してもらうための推進的活動について知りたいとおもいました。
- ・自閉症スペクトラム症での対人コミュニケーションスキルの身に付け方(青年期)を知りたいです。

**10、その他要望等ございましたらご記入下さい。** (一部抜粋)

- ・意思疎通は可能。障がい者雇用で一般企業に就労可能といったレベルのASDの者に対するサポートについて知りたいです。
- ・実践報告形式で大変わかりかすかったです。続けていただけたらありがたいです。